

2022年11月21日

江南市長 澤田 和延 様

日本共産党江南市委員会
東 義 喜
日本共産党江南市議員団
掛布 まち子
三輪 陽子

2023年度予算編成にあたっての要望書

市民福祉の向上と市政進展のために、日夜ご尽力いただき感謝申し上げます。

来年度予算の編成作業も大詰めを迎えていることと思います。日本共産党議員団に寄せられた市民の要望を来年度予算に反映させ、憲法と地方自治法を守り、暮らし・福祉・教育が充実した市政実現のために下記の項目について要望します。

記

【新型コロナ感染症対策、物価高騰対策に関すること】

1. ワクチン接種がスムーズにすすむよう医療機関との連携をすすめ、市民への周知を丁寧にする
こと。
2. 国の新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用し、変化するコロナに対応する万全の備えのため、希望する市民や福祉施設、保育園、学童保育施設等の関係者に対し、無料で繰り返しPCR
検査を実施すること。
3. スクールサポートスタッフや学校トイレ清掃員の配置を新年度も継続すること。
4. 国民健康保険の傷病手当金の支給を、事業主にも拡充すること。交付金を活用し、物価高騰の
影響を受けて業績が悪化した中小企業者を対象とした支援金を創設すること。

【子育て、保育、学童保育に関すること】

1. 中学3年、高校3年生以外の子どものインフルエンザワクチンに対する助成を実施すること。
特に2回接種が必要な13歳未満への助成を実施すること。
2. 学童保育の待機児童をなくすこと。待機児童が多い、布袋地区については学童保育施設を拡充
すること。当面、交通児童遊園の施設を活用し、長期利用の布袋・布袋北校区の学童保育を
実施すること。4、5、6年生の通年利用について、保護者の勤務終了時を午後4時30分以降か

ら午後3時以降に、4週間平均勤務日数を16日以上に変更すること。指導員の確保と待遇改善を万全にすること。学童保育料の第2子、第3子に対する減免制度を設けること。

3. 保育の民設、民営化は中止し、老朽化した保育園は適正規模の公立保育園として建て直すこと。
4. 市内で1園、休日保育を実施すること。
5. 不足している市街地における子どもの遊び場、公園の整備をすすめること。近年の猛暑、長雨に考慮し、幼児が室内で安心して遊べる場所を整備すること。
6. 貴重な障害児母子通園施設・わかくさ園の、老朽化した園舎の改修を急ぎ直営で存続させること。
7. 保育園和式トイレの洋式トイレへの改修をすすめること。
8. 正規保育士を確保して待機児を出さないようにすること。クラス担任をもつ保育士は正規職員にすること。
9. 保育園のオムツは保育園で処理し、持ち帰りをなくすこと。
10. 兄弟姉妹は、同じ園に入園できるようにすること。
11. 保護者の育休取得による3歳未満児の退園制度を止めること。

【暮らし、福祉、介護、地域経済に関すること】

1. 市の公共交通の基本的な考え方を見直し、地域公共交通計画を策定し、市の交通政策を転換すること。買い物や通院に便利な巡回バスを走らせること。特に、市内どの地域からも布袋駅東複合公共施設やフラワーパークへ行くことができるようにすること。
2. 高齢者タクシー券助成制度の対象年齢を80歳まで引き下げ、1回の乗車に対し枚数制限をなくし、必要枚数を金券のように利用できるよう変更すること。
3. 国民健康保険への一般会計繰入金削減、これ以上の国民健康保険税の値上げを中止すること。就学後～18歳までの子どもの均等割を減免すること。
4. 介護保険事業基金を取り崩して介護保険料を引き下げること。
5. 低所得者へのヘルパー利用料減免制度の縮小・廃止をやめ、もとに戻すこと。
6. 介護予防教室等の開催を拡充し、地域のサロン活動への支援を強めること。
7. 給食サービスは昼間独居の方など希望者全員に配食できるようにし、土日も実施すること。
8. 熱中症対策として、生活保護世帯や低所得者世帯にエアコン設置費、電気代の補助を行うこと。生活保護世帯など生活困窮者へ灯油購入費の助成を実施すること。
9. 带状疱疹予防接種の助成をすること。
10. 加齢性難聴者への補聴器の購入補助を行うこと。

11. 産婦健診の助成回数を近隣市町と同じように2回にすること。
12. 省エネ、断熱改修や省エネ機器への買い替えも含めた、環境にやさしい住宅改善助成制度を実施すること。
13. 水道料金をこれ以上値上げしないこと。低所得者への減免制度を設けること。
14. 下水道料金の連続値上げを中止すること。
15. 合併浄化槽地域の住民へ宅内配管工事の助成を行うこと。
16. 中小企業振興基本条例に基づき、実効性のある支援策を講ずること。
17. 公共施設使用料に福祉減免制度を設けること。入浴使用料については、割引回数券などを発行すること。
18. 江南駅、布袋駅周辺の市営駐輪場の有料化は行わないこと。

【教育に関すること】

1. 中学校での少人数学級の実施を国に要望すること。
2. 子育て世代の経済的負担軽減のために、学校給食費の半額助成を新年度も継続すること。
3. GIGA スクールの実施で子どもたちや教員の過度な負担を招かないよう、パソコン支援員の全校配置を行うこと。Wi-Fi 環境のない準要保護家庭などに対し契約料や通信費の補助を行うこと。
4. 避難所となる小・中学校の体育館に、エアコンを設置すること。
5. 正規調理員を採用し保育園の自園調理を堅持すること。
6. 就学援助の基準を生活保護基準の1.4倍まで引き上げ、近隣市町並みに、PTA 会費や生徒会費、クラブ活動費を支給対象品目に加えること。
7. 小学生の広島平和記念式典への派遣は各校2名以上とし、学校内の報告会にとどまらず、市民に対する体験発表の機会をつくること。8月の世界平和を願うパネル展の内容を工夫し充実させること。
8. 教職員の多忙化解消計画を着実に実行し、早朝の部活を止めること。心の教室相談員の勤務時間の拡充、スクールソーシャルワーカーの増員など、いじめ、不登校対策にしっかりと取り組むこと。
9. 小・中学校のトイレに生理用品を置くこと。
10. 布袋駅複合公共施設や新図書館の運営について、広く市民の意見が反映できる仕組みをつくること。図書館分室を宮田地域や草井地域にもつくり、古東・古西公民館の学習室も図書館分室として充実させ司書の配置を行うこと。

【環境・農業・防災対策に関すること】

1. 傷んだ生活道路や歩道の改修をすすめ、道路や歩道にはみ出し通行の妨げとなる雑草の管理を徹底すること。危険な歩道の段差を解消すること。
2. 消えた横断歩道や停止線の修復と信号のLED化を県に要望すること。
3. 浸水対策として、耕作放棄地などを活用した雨水調整池の整備を進めること。
4. 資源ごみ回収ステーションを市中心部や南部地域にもつくり、日曜日も開設すること。ビン、カン、ペットボトル等の回収を、生ごみ収集ラインに乗せ、地域での立ち当番制度を縮小し、資源ごみ排出の利便性を向上させること。プラスチック資源循環促進法に基づき、廃プラ、容器包装プラの路線回収に踏み切ること。
5. 「2050年CO₂排出ゼロ」をめざす「ゼロカーボンシティ」を表明すること。2030年までの温室効果ガス削減計画を策定し、市が先頭にたち市民、企業と一体で気候危機対策を加速させること。公共施設更新時には、建物の断熱性能を高め、太陽光パネルを設置すること。
6. 増え続ける耕作放棄地に対し有効な対策を取ること。新規就農者への実効性、持続性のある支援策を行うこと。収穫物の学校給食や保育園給食での活用など、販路の開拓を支援すること。

【ジェンダー平等、事業の見直し、公共施設の再配置、老朽化対策に関すること】

1. 機械的な事業スクラップで、市民福祉を後退させないこと。
2. 布袋南部土地区画整理事業の名鉄負担分を繰り返し要求すること。
3. 老人福祉センターの建て替えにあたり、入浴施設を整備すること。
4. 藤ヶ丘・古知野児童館の存廃については地元住民や関係者の意見をよく聞き検討すること。
5. すいとぴあ江南の民間譲渡・廃止計画については、市民の声をしっかりと聞き、公開の検討組織で議論し、廃止ありきではなく他の選択肢も含め慎重に判断すること。
6. 公共施設の再配置は、地域住民の合意と納得、協力のもとに進め、強引な統廃合は行わないこと。特に小学校の統廃合は行わないこと。
7. 減らしすぎた正規職員を計画的に増やし、災害時等の場合でも市民の安全・安心を守るために働くことができる市役所をつくること。会計年度任用職員の待遇を改善すること。
8. ジェンダー平等社会の推進のために、市が率先し積極的な取り組みをすすめること。
9. パートナーシップ・ファミリーシップ認定制度を創設すること。

以 上